

平成21年度施政方針の取り組み状況・実績

平成21年度施政方針に掲げられた各事業の取り組み状況・実績は次のとおりです。

◆保健福祉施策

施策（事業）名	施策等概要	取組状況・実績	上半期進捗	年度末実績	担当課
①放課後子どもプラン事業の実施	<p>放課後子どもプランは、児童の安全で安心な放課後の居場所づくりと地域の中で健やかに育まれることを目的としています。放課後子ども教室は、地域の方々の協力を得ながら、更に内容の充実を図ります。</p> <p>「大室台小学校児童クラブ」、「酒々井小学校児童クラブ」は、運営委員会と町と相互に連絡を取りながら円滑な運営が図られるように努めます。学校法人堀口学園が運営する酒々井児童クラブへ運営費を補助します。</p>	<p>放課後子ども教室は、酒々井小学校34日、大室台小学校28日開催し、平均66名の児童が参加。</p> <p>学童クラブの平均登録児童数は、「酒々井小学校学童クラブ」23名、「大室台小学校学童クラブ」36名、「酒々井児童クラブ」53名。</p>	○	○	こども課
②乳幼児医療費助成	<p>昨年、従来の4歳未満から小学校就学前までに拡充しましたが、町独自策として所得制限は設けず、自己負担金も従来どおりの1回200円とし、保護者の経済的負担の軽減を図ります。</p>	<p>町内在住の小学校就学前までの対象児童1,247人に対し、入院・通院・調剤医療費27,607,648円を助成。</p>	○	○	こども課
③一時保育の開始	<p>中央保育園及び岩橋保育園での「一時保育」を開始し、子育て中の家庭を応援します。</p>	<p>[利用児童実績]</p> <p>10月 5名(延べ14名) 11月 6名(延べ21名) 12月 4名(延べ6名) 1月 6名(延べ16名) 2月 7名(延べ15名) 3月 6名(延べ13名)</p>	○	○	こども課
④母子保健事業の充実	<p>妊婦健診をはじめとした様々な子育て支援策に引き続き取り組みます。中でも、こんにちは赤ちゃん事業は健康推進員と連携して子育て状況を把握、適切なサービスの提供につなげていきます。</p> <p>また、ゆりかごルームでは、親子や同年齢の乳幼児を持つ親同士の交流を深めるなど交流の場を提供します。</p> <p>妊婦健康診査は、妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図り、安心して妊娠・出産ができるように、公費負担を5回から14回に拡充します。</p>	<p>母子健康手帳交付173件 新生児訪問指導83件 マタニティクラス 3回 参加者82人 ママパパクラス 3回 参加者16組 乳児相談 12回 4か月児 対象者160人 受診者136人(85%) 10か月児 対象者157人 受診者128人(81.5%) 1歳6か月児健康診査6回 対象者157人 受診者148人(94.3%) 3歳児健康診査 6回 対象者176人 受診者148人(84.1%) ゆりかごルーム 33回 参加者 延べ475組 幼児健診事後指導教室 12回 参加者 延べ 93組 心理発達相談 11回 来所者26人 *妊婦健診の助成回数が5回から14回に増えたことで、妊婦の経済的負担を軽減。</p>	○	○	健康福祉課

⑤高齢者福祉及び介護予防施策の充実	高齢者を地域全体で支える「支え合い・助け合うまちづくり」に取り組み、高齢者がいきいきと生きがいをもち自立して人生を送ることができるように、第4期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画に基づき取り組みます。	家族介護者教室 生きがいデイサービス事業 5月より週2回火曜日に各30名で開催 延べ96回、2,112人が参加。 緊急通報装置貸与事業 延べ605件 3月末で53件設置済。 はりぎゅうマッサージ助成 276人に4,923枚の利用券を支給し、1,773枚が利用。	○	○	健康福祉課
⑥心と体の健康づくりの推進	介護者の精神的、身体的ケアを目指すため、保健センターを改修、エレベーターを設置し施設活用の拡大を図り、介護者を支援する「交流の場」や、保健師・栄養士による相談など、介護者を支援します。	・保健センターにエレベーターを設置し、7月28日から供用を開始。 ・在宅介護の交流会を11回実施。(参加者延べ120名)	○	○	健康福祉課
⑦高齢者への各種支援	高齢者の生活の質の向上等、生きがいのある生活を送ることで要介護状態への移行を防止し、介護予防の基礎知識や技術を身につけ地域で普及活動ができるようにチャレンジ教室など引き続き取り組むとともに、地域包括支援センター事業の円滑な運営を通じて、高齢者が自立した生活を送れるよう支援します。	・チャレンジ教室：東酒々井6丁目 全12回(6/10~8/26)参加者延べ217人、中川 全11回(9/25~12/4)参加者延べ95人、大鷲・トク崎 全7回(10/28~12/9)参加者延べ25人、飯積全7回(1/27~3/10)参加者延べ44人 ・介護予防教室(運動)全12回 前期4/20~7/13参加者延べ100人、後期9/7~12/14参加者延べ120人 ・地域包括支援センター事業：相談390件、出前相談10箇所81名、介護契約延べ1282名、認知症サポーター養成講座開催3回、包括便り発行4回、見守り訪問9名を実施、介護予防教室終了者の集いを組織し、毎週月曜日に23回開催。参加者延べ165人。	○	○	健康福祉課
⑧紙おむつ支給事業の拡充	支給対象枠を住民税非課税世帯で65歳以上要介護1以上の方に広げて支給します。	平成21年4月より老人分の支給対象を要介護4以上の非課税世帯から要介護1以上の非課税世帯に拡大し事業を実施。 H22年3月末 身体障害者19人利用(延べ231人)、老人20人利用(延べ161人)	○	○	健康福祉課
⑨障害者福祉施策の充実	引き続き障害者自立支援法の着実な執行により、保健福祉サービスの一層の推進を図ります。なお、福祉タクシー事業は、人工透析を受けられている方の通院負担に配慮し、年間60枚の福祉タクシー券を支給するよう拡充します。	平成21年4月より人工透析者への福祉タクシー券の交付枚数を30枚/年から60枚/年に拡充。 53人にタクシー券を交付(うち人工透析者5人)1007枚使用。	○	○	健康福祉課
⑩健康づくり施策の推進	特定保健指導の対象者を含め順天堂大学との連携により、引き続き取り組みます。	順天堂大学を会場に減量を目的に個々の健康状態に合わせ、日常生活に取り入れられるような運動指導といくつかの実践体験を通して、健康づくり意識の向上と健康的な生活習慣の継続、参加者相互のコミュニケーションづくりを図ることを目的に実施。 ・委託先：順天堂大学 ・対象者：40歳から74歳までの町内在住者 特定保健指導対象者(40歳から74歳まで) 前期・・・全6回 受講生19名 参加者延べ112人 後期・・・全6回 受講生19名 参加者延べ86人	○	○	健康福祉課

⑪生活習慣病予防の促進	子どもの時からの生活習慣病予防に取り組むため、「いきいきすいっ子教室」を引き続き開催。さらに、40歳以上を対象とした歯の喪失予防に成人歯科検診を行います。	・成人歯科検診（H21年度新規事業）40歳以上を対象に個別検診 受診者20名 ・小児生活習慣病予防健診 小学5年生対象 酒々井小 受診者90人（93.8%） 大室台小 受診者55人（76.4%） ・いきいきすいっ子教室・・・小学5年生対象 酒々井小 参加者96人、大室台小 参加者72人	○	○	健康福祉課
⑫予防接種事業の推進	麻疹・風しんの混合予防接種を行うなど、個人の健康管理や感染症の流行の防止に引き続き取り組みます。また、新型インフルエンザの情報提供に努めるほか、パンデミック対策として、感染症用防護対策キット等を有事の事態に備え、住民の安全・安心に努めます。	ポリオ6回 接種者344人 BCG 142人 百日せきジフテリア破傷風混合 618件 麻疹風しん混合 1期 155人 2期 168人 3期 150人 4期 90人（57.0%） 日本脳炎 214人 ジフテリア破傷風混合 159人 定期外麻疹風しん 6人 高齢者インフルエンザ 2,532人 新型インフルエンザ 2,475人 肺炎球菌 48人	○	○	健康福祉課
⑬食育推進事業の実施	平成20年度に作成した食育絵本「おいしいね」を使用して知識の普及啓発に取り組みます。	・食育絵本の配布 3歳児健康診査の対象者数176人のうち148人に配布（84.1%） ・食育講習会の実施 4回 92人	▲	○	健康福祉課

◆教育文化施策

施策（事業）名	施策等概要	取組状況・実績	上半期進捗	年度末実績	担当課
①私立幼稚園への運営助成	私立幼稚園の教育振興と特色ある幼児教育の推進に要する費用として、町内の私立幼稚園2園に対して運営助成を行います。	町内2園に対し各200,000円の補助を行い、幼稚園の教育環境を更に整えることができた。	▲	○	こども課
②教育環境の整備と安全確保	酒々井小学校屋内運動場改築工事の建設工事に着手します。また、中学校屋内運動場の床等の改修などを実施し、今後3年間で小・中学校施設の耐震化工事を完了させる予定です。	酒々井小学校屋内運動場改築工事は、3月に工事が完成、竣工済。 その他の小・中学校施設の耐震補強・大規模改造工事は、10月に設計業務の委託契約を結び、今後の工事に向けて準備を進めており、新年度に小中学校の耐震補強・大規模改造工事を実施し、すべての耐震補強工事を完了する予定。（予算は21年度度予算の繰越明許）	○	○	こども課

③教育内容の充実	児童・生徒の生涯にわたる読書習慣の形成と学校図書館活用能力の育成を考え、町独自で取り組む「学校図書館支援事業」のほか、教職員が提案する教育プランに対して支援する「教職員の特色ある教育活動支援事業」や「スクールサポート指導員事業」、「各学校ボランティア活動に対する支援事業」、中学生模擬議会で取り上げられた、中学校部活動補助金の拡充などに取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館支援：各学校に学校図書館アシスタントを配置。（小・中学校各1名） ・教職員の特色ある教育活動支援：各学校の教職員から提案のあった教育プランを審査し、教育効果が期待できるプラン3席に対し補助金を交付。 ・スクールサポート指導員：各学校に指導員を配置。（小学校各1名、中学校2名） ・各学校ボランティア活動に対する支援：各学校の図書館・読み聞かせボランティアに対し活動用消耗品等を購入。 ・中学校部活動補助金の拡充：中学校に補助金を交付。 	○	○	学校教育課
④史跡本佐倉城跡関係事業の実施	史跡本佐倉城跡の発掘調査に係る報告書の発刊、現状保存のための仮設工事（東山虎口斜面）等を実施します。 3年目となる「史跡ウォーキング」は、引き続き町民の皆様方との協働事業により実施し、酒々井町を町内外の多くの方々に紹介します。	<p>史跡本佐倉城跡の整備事業は、今後の復元整備の基礎資料となる発掘調査に係る報告書を3月25日に刊行。また環境整備では東山虎口の斜面工事や樹木の伐採など城山郭の切株の除去を行い、年度内に終了。</p> <p>史跡ウォーキングは町制施行120周年記念事業として位置付けて10月25日（日）に実施。ふるさとガイドや郷土研究会と実行委員会を組織して、各種団体と協力して行った。解説付団体歩行により本佐倉城跡を中心に周辺関連史跡を巡るコースで、168名が参加。</p>	▲	○	社会教育課
⑤生涯学習の推進	順天堂大学との連携による公開講座の開設や3年制の町民大学となるカレッジコースなど、取り組みやすい学習体制を築きます。	<p>地域の教育力を活用し、順天堂大学に委託しての生涯学習公開講座を実施。 期日：平成21年10月31日・11月7・14・21日のいずれも土曜日、毎回10時～12時 第1回 開講式、「体操教室」36名 第2回「サッカー教室」48名 第3回「バレーボール教室」50名 第4回「陸上教室」、閉講式 56名（延べ：190名） 会場：順天堂大学さくらキャンパス内各施 対象：町内在住在勤の小学生親子30組参加 受講料：1,000円</p> <p>長期講座、H21カレッジコース1年生25名、2年生20名、3年生17名により実施中。また、長期講座を1講座、短期講座を7講座、さらに生涯学習フェスティバルをはじめとする5のイベントを実施。</p>	▲	○	社会教育課 中央公民館

◆生活環境施策

施策（事業）名	施策等概要	取組状況・実績	上半期進捗	年度末実績	担当課
①消防・防災事業の充実	消防団の「小型ポンプ2台の更新」を行うとともに、防災情報を盛り込んだ「洪水ハザードマップ」を地元住民代表を含めた委員会を設置し、作成します。	<p>①消防団の小型ポンプ2台を更新（進捗状況100%）</p> <p>②洪水ハザードマップ検討委員会を2回開催。（意見・提案等を受ける。）また、基礎的資料等を取りまとめ、マップを作成。（進捗状況100%）</p>	▲	○	総務課

②歩道拡幅工事の実施	下岩橋地先、宗吾参道からちびっこ天国までの歩道の拡幅工事を実施します。	下岩橋地先、宗吾参道からちびっこ天国までの歩道の拡幅工事を実施。 工事延長L=403.3m、歩道幅員W=3m、歩道舗装工A=1,138㎡、転落防止柵L=80.0m 他	○	○	まちづくり課
③駅前交流センターの有効利用	住民に有益な防犯情報の発信等を行うとともに、有効に活用できるように工夫します。	掲示板に町内の犯罪件数や防犯啓発記事、イベント情報などを掲示。 臨時職員を配置して、来訪者の対応や道案内、防犯情報の収集などを行っている。 *町内の犯罪件数が減少。(平成21年中累計371件(前年比65件減))佐倉警察署の移動交番(平成22年3月から実施)の駐留施設として役立っている。	▲	○	総務課
		平成20年10月11日よりJR東酒々井駅東口駅前広場の「町民駅前交番」設置に伴い、同施設内に町の観光などを紹介する「駅前交流センター」を開設。	▲	○	産業課

◆都市基盤施策

施策(事業)名	施策等概要	取組状況・実績	上半期進捗	年度末実績	担当課
①酒々井IC関連道路の整備	県との事務委託契約に基づき用地交渉等を行い、平成21年2月末日の進捗状況は県からの委託分約67%、町分約91%であり、早期完成に向け努力します。	県との事務委託契約に基づき用地交渉等を行い、県からの委託分約91%、町分約100%完了。	▲	▲	まちづくり課
②JR酒々井駅エレベーターの設置	JR東口側(東酒々井側)に設置します。なお、西口側(中央台側)は、事業手法等を研究し、できれば平成21年度中に設置を考えています。	JR東口側(東酒々井側)は平成22年3月末に工事完了。 西口は3月末に実施設計が完了し、平成22年度に設置工事。	○	○	まちづくり課

◆産業経済施策

施策（事業）名	施策等概要	取組状況・実績	上半期進捗	年度末実績	担当課
①URが実施する南部地区新産業団地への支援	町の新しい拠点として新産業団地を形成するものであり、平成20年12月15日に土地区画整理事業の認可を取得しました。超高齢化社会への対応と自主財源の安定確保、さらには地域の活性化・雇用の創出など地域経済への波及効果も期待されます。	都市再生機構施行による土地区画整理事業の認可（H20.12.15）を取得し、H21.5月末に土地区画整理審議会が発足。	▲	▲	産業課
②「しすいの森パークゴルフ場」による交流人口の増や産業振興等	酒々井町墨地先の「しすいの森パークゴルフ場」は、人々の健康づくりや地元農産物の販売等産地消に貢献するものであり、さらには、交流人口の増加等産業の振興や観光の振興に活かします。	平成20年11月より「しすいの森パークゴルフ場」がオープンし町内、町外から大勢の方が来場。 オープン当初より地元農産物の販売については、墨地域の農家で直売組合を組織し、新鮮な農産物・米などを販売。	○	○	産業課
③農業の振興	政府は、コメの生産調整（減反）見直し等を検討していますが、大変重要な問題であるため、動向に注視しながら町農業の在り方や今後の方向等について検討していきます。	米の生産調整達成者及び特別栽培等（生産調整達成者）取組んだ農家に対し産地づくり奨励金を交付。（交付対象者104名、3,133,091円）	○	○	産業課

◆地域社会と行財政施策

施策（事業）名	施策等概要	取組状況・実績	上半期進捗	年度末実績	担当課
①住民参加・協働施策の推進	自発的な公益活動である住民活動を支援するなど、「住民公益活動支援事業」、「住民活動支援拠点運営事業」、「NPO、ボランティア等団体活動支援事業」などに引き続き取り組みます。	酒々井町住民公益活動補助金の審査会を平成21年6月30日に実施し、補助金を交付。（1団体20万円：総額120万円、応募・交付共に6団体） 平成22年1月に井戸端（酒々井町交流サロン）を役場西庁舎から東酒々井一丁目（千葉ガスショールーム跡地）に移設。 （利用実績：1月・11団体49名・個人439名、2月・22団体87名・個人532名、3月・17団体85名・個人641名） 団体へ情報提供、活動場所の提供、団体向け研修会及び会議等への参加、町広報紙及び町ホームページを活用した情報提供、交流サロン及びミーティングルームの貸し出し、住民活動団体交流会等を実施。	○	○	住民協働課

②シルバー人材センターへの支援	シルバー人材センターは、生きがいの充実を図ろうとする自主的な団体であり、機能充実に向けた支援を行います。	酒々井町シルバー人材センターの機能充実に向けた支援として、補助金1,360千円を交付。 (平成22年2月26日現在/対前年度) H21年度会員数：119名(9名増加) H21年度受託事業収入額：21,750千円(5,640千円増加)	○	○	住民協働課
③広報ニューすいの充実	正確でわかりやすい行政情報を積極的に提供していくため、広報ニューすいの紙面を充実します。	平成21年5月号から毎月、町が現在取り組んでいる施策を2ページ見開きで掲載(情報公開)し、わかりやすい行政情報を積極的に提供。 「参考」5月号(子育て支援)、6月号(高齢者支援)、7月号(町制施行120周年記念事業)、8月号(教育委員会の取り組み)、9月号(経済危機対策)、10月号(南部地区のまちづくり)、11月号(住民主体のまちづくり)、12月号(歴史的景観を活かした「まちの顔づくり」)、平成22年2月号(安全・安心のまちづくり)、3月号(学校の安全・安心と情報化)	○	○	経営企画課
④人材育成	研修制度等を活かしたスキルアップを図り、職員の意識改革と資質向上に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村アカデミー研修 1名 ・自治研修センター 課長研修2名、法制実務研修2名、女性職員パワーアップ研修 2名 ・印旛郡市町村職員研修 初級職員研修 1名、中級職員研修 2名 ・千葉大学観光人材育成講座 1名 ・人権教育研修(人権セミナーへの参加) 延べ104名 	○	○	総務課

○:実施済
▲:一部実施済
×:未実施